

RAFIKI NEWS

RAFIKI (ラフィキ) はスワヒリ語で「トモダチ」の事です。



10th Anniversary

10周年を迎えた2011年12月、3月末には本町の2号店を不本意ながら閉店し沢山のお客様にご迷惑をお掛けいたしました。改めてお詫び申し上げます。申し訳ございません。この様な状況の中で、沢山のお客様に支えられ、栄町の本店は10年と言う節目を迎える事が出来ました。誠にありがとうございます。(▽)

そこで、今回のNEWSは、RAFIKIの10年の歴史と、同じペットの飼い主として、私、大久保が是非皆様へ伝えたい事を記事にします。(チョット宣伝も入りますが・・・)

2001年12月3日プレオープン(本オープンは同月の18日です。)

朝10時開店。開店日を心待ちにしていたというトイプードルを連れてご夫婦が一番目のお客様です。10年経った現在もご愛顧頂いています。オープン当初は、オリジナルイラストのTシャツ(人用)やバック類も販売していたのです。(目指せ! DOG DEPT!?!的な感じ・・・)全然売れないので、DOG DEPT 化即中止。



こんなイラストのTシャツや

こんなバックも・・・



そして、現在のトリミングルームは、何とドッグカフェ!
中央に大きな造り付けのカウンターがあり、窓側にはL字型の大きなソファを置いていました。客席9席の小さなカフェ。(詰めれば12人は座れたかな?)
正真正銘「東村山初のドッグカフェ」です。
オープン当初は、満席で入店出来ないお客様が外で待つ事も・・・数度ありました。
また、オープンとほぼ同時に、RAFIKI主催によりドッグトレーナーを招いて、毎週グループレッスンや、個別カウンセリングを行っていたのです。(2006年まで)

同年8月楽天市場出店(犬の雑貨屋RAFIKI楽天店)

前職が通販会社の千趣●だったので、通販の仕組みは大まかに理解していました。がっ、売り方は判りません。その様な部署では無かったので、出店当初は、商品掲載しているだけで、ある程度の売上があったのですが、、5年ほど前から、類似した同業他店が当初の20倍以上も増え苦戦する事になります。現在も出店しています。



2003年2月

ドッグカフェ閉鎖。店舗物販と通販強化のため閉鎖したのですが、常連のお客様からの強いご要望で店内に2席だけ残しました。(同年の12月まで)



同年8月

メールマガジン「週間犬倶楽部」創刊。
犬関連のコラムや様々な情報のメルマガで、業界の広告収入を得る事が目的で創刊。ピーク時は会員数6000人以上でしたが、2年後に廃刊。メルマガの時代は終わった・・・



2004年8月

お客様からご要望が多かったトリミングとホテルのサービスを開始。
当初はトリミングスペースも現在の半分で、トリマー1名からスタートしたのです。



2007年3月

トリミングの需要が増え、スペースが手狭になった為、店舗を改装してトリミングスペースを拡張。僕のスペースが、同時に3階に通販用の事務所兼バックヤードを借りたのです。改装と同時に有料オプションのマイクロバブル温浴装置を導入。



2009年4月

RAFIKI オリジナルの犬用おやつ「JUST JOY!」製造販売スタート。
製造数が少なく何時も品切れ状態でご迷惑をお掛けしました。

2009年8月

物販売上と逆に、トリミングの需要は多く供給が追いつかない状態のため、本町にトリミングに特化した炭酸ボディスパを全頭実施の2号店をオープン。



2011年3月

2号店を閉鎖・・・申し訳ございません。

同年9月

設立10周年にあわせ、店舗限定販売の好評を頂いていた「JUST JOY!」を楽天市場での販売と、他店への卸売りを目標にリニューアル。現在数店舗で販売頂いています。

以上、RAFIKIの10年を振り返って見ました。スタッフ達も知らない事が多いと思います。

RAFIKI オーナーの大久保がお客様に伝えたいペット達の食生活事情。

近年、犬猫の寿命は飛躍的に延びました。動物医療の発展とペットフードの普及がその要因だと言われています。ペットフードも、医療同様にペットの生態を日々研究し年々進化し続けています。ただ、問題なのがフードの材料品質や各種添加物・・・まだまだ市場に出まわっているフードの多くは「安かろう、悪かろう」と粗悪で、人の加工品には使用不可の防腐剤や酸化防止剤、飼い主の目に訴えるための着色料を使用している製品が多く出回っています。「所詮、餌的」な考えだと感じています。RAFIKIでは、10年前の開店から一貫して市場に出ている中では比較的良好いとされる化学的な防腐剤等無添加のナチュラルフードを販売しています。

では、RAFIKIで販売しているフードだけ食べさせれば健康になるのか? 答えは・・・NOです。メーカーからは、無添加のナチュラルフードで犬猫の必用栄養素が全て補える総合栄養食だとお話を頂いています。がっ、、ほとんどのフードは高温で加熱し、流通に多くの日数を要しています。製造段階で、必用栄養素を満たしていても、店舗に並びまでに栄養素の損耗は否めません。特に、老化のスピードや寿命にまで影響されると言われている食材に含む酵素は高温処理の段階で消滅しています。(Now!の様に最終工程で酵素を添加しているフードもあります。) では、、どーするの? 食材に含まれる酵素は40℃以上の熱を加えると消滅します。フードに生の野菜類をトッピングが良い? もともと肉食の犬猫は、人と比べ腸が短いため野菜や果物類の消化は苦手です。(ただ肉食と言っても草食動物の胃腸に入っている残留食材を食べるので野菜類からの栄養も必要なのです。) 野菜類をトッピングする場合は、消化のためミキサー類ですり潰す必要があり、量を間違えると栄養が偏りますのでご自身の体重と比較してトッピングの量を考えてみてください。。(5kgのワンコにササミ1本分をトッピング? 50kg体重の人にササミ10本のトッピング?! 過剰摂取です・・・)

この様な事は面倒かな?? なら**酵素サプリメントかドライ納豆**です。私の家族の犬猫は、16歳、13歳、10歳の犬達&9歳、8歳の猫達です。13歳と10歳の犬は、スポーツドッグ現役です。埼玉県松伏で12月に行われたディスクゲームの大会では、13歳がシニアクラス準優勝、10歳の犬は若い犬達を退けてレディースクラスで優勝しました。

犬猫のフードの実態と必要な栄養を学び、不足している栄養を補った食生活で、この健康な体を維持していると自負しています。

何を食べていても健康で長生きしている犬猫がいるのも事実ですが、様々な人工添加物は発ガンやアトピー等の発症率が高くなる事は否めません。また加工食材は、栄養素が損耗されている可能性が高い事も事実です。大変おこがましいのですが、チョットだけで良いので、ご家庭のペット達の食生活を見直して下さいね。

